

＜選択必修領域＞ 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域（6時間）

講習名	【選択必修】あらゆる教育活動に活かす教育相談的態度と積極的傾聴			時間	6時間		
講習日	平成30年8月4日（土）			定員	30名		
主な対象者	幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、幼保連携型認定こども園で教育職員として勤務する方（免許職種、教科等、勤務経験等は特定しない。）			認定番号	平30-20084-301690号		
担当講師	鈴木 有美(国際文理学部准教授)						
講習の概要	教育相談は、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育活動の実践の中に生かし、教育相談的な配慮をもって望ましい在り方への援助を図ることだとされています。本講習では、いじめや不登校をはじめ学校場面で起こる問題の受け取り方や対応について学び、ロールプレイやディスカッション等を通して教育相談について理解していきます。						
講習日程	1限	09:00～10:15 (75分)	教育相談の意義と特質 (鈴木 有美)	午前中は、教師が行う学校教育相談の意義と特質について学びます。積極的傾聴とも呼ばれるカウンセリングの基礎的な技法を確認した後、ロールプレイやディスカッション等を通して教育相談的態度(カウンセリング・マインド)を教育活動実践に活かす方策を探っていきます。			
	2限	10:25～11:40 (75分)					
	3限	12:40～13:55 (75分)	不適応行動の事例研究 (鈴木 有美)			午後は、いじめや不登校をはじめとした子どもたちの不適応行動について事例研究していきます。学校教育における様々な教育相談の実態を把握し、受講者のみなさまが問題や課題と考えておられる事例について、ディスカッション等を通して全員で解決策を探っていきます。	
	4限	14:05～15:20 (75分)					
	5限	15:30～16:30 (60分)	総括・履修認定試験				
履修認定の方法	講習時間内に履修認定試験を実施し、60点以上を合格とする。						
当日の準備物	筆記用具						